

「恵みと平和と愛があるように」
エフェソの信徒への手紙 6章 21-24 節

2024.7.21

●アウトライン

1. 心に励ましを得るために

- ・エフェソの信徒への手紙が書かれた背景。
- ・「ティキコ」という人物。
- ・ティキコの派遣による交わりと励まし。
- ・新しい後任の牧師のために、前任者と比べない。
- ・御言葉の説教による、心の励ましと慰め。

2. 恵みと平和と愛があるように

- ・「恵みと平和」 + 「愛」
- ・「信仰に伴う愛」。信仰の歩みは、人を愛することにおいて、その真価が問われる。
- ・しかし、その愛は「父である神と主イエス・キリストから」与えられるもの。
- ・愛の源は、心の内に住まわれるキリスト（エフェソ 3:16-19）

3. キリストを愛する人へ

- ・人を愛する道だけではなく、神を愛する道へ。
- ・神の恵みは、キリストを愛する人に与えられる。
- ・神の優しさと、信仰の世界の面白さ
- ・キリストを愛し、神の恵みを受け取って歩んでいただきたい。

●聖書箇所

【使徒言行録 20 章 36-38 節、新約 255 ページ】

「このように話してから、パウロは皆と一緒にひざまずいて祈った。人々は皆激しく泣き、パウロの首を抱いて接吻した。特に、自分の顔をもう二度と見ることはあるまいとパウロが言ったので、非常に悲しんだ。人々はパウロを船まで見送りに行った。」

【コリントの信徒への手紙一 13 章 1-3 節、新約 317 ページ】

「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。全財産を貧しい人々のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。」

【エフェソの信徒への手紙 3 章 16-19 節、新約 355 ページ】

「どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて、信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住ませ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるように。また、あなたがたがすべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、人の知識をはるかに超えるこの愛を知るようになり、そしてついには、神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかり、それによって満たされるように。」